

## 奈良女子高等師範学校附属幼稚園の保育の実際(1)

—昭和13年度四之組保育日誌を中心に—

高月 教恵

幼児教育学

Practice of the Infant Education of the Kindergarten Attached to  
the Nara Women's Advanced Teacher-Training School (1)  
—Through the Infant Education Diaries in the Year of 1938—

Norie TAKATSUKI

(2003年11月5日受理)

奈良女子高等師範学校附属幼稚園の保育の実際について、昭和13年度四之組保育日誌を中心に考察した結果、一日の流れは午前中保育では、「登園—自由遊び—会集—課程保育—自由遊び—帰宅準備—散園」であり、午後までの保育では、「登園—自由遊び—会集—課程保育—課程保育—昼食—自由遊び—帰宅準備—散園」と考えられる。保育の内容については、保育六課目を基盤として自由遊び・会集・行事等の保育要目と、諸注意及び反省・練習事項・国家的事項等の訓練要目を柱立てに、保育が行われていた様子がうかがえる。

保育六課目については、課目の複合的な取り扱いや、一題材の各課目の視点からの取り扱いや、植物の成長や行事にしたがっての一連の流れがうかがわれる。この活動の流れは、各課目の充実をはかりながらの季節や行事等にそっての一連の流れと考えられ、倉橋惣三の誘導保育と言うよりも、課程保育重視の保育と言えよう。

### はじめに

昭和13年度四之組保育日誌は、横の罫線入りの用紙に、一日ごとに、題目・予定・実際の欄に区分して、万年筆で記されている。そして、上段には、年月日・曜日・天候が記載され、曜日と天候が記載されている文字の上に当時の主事の印が押されている(図1参照)。

昭和13年の社会的背景としては、昭和12年に日中戦争が勃発し、戦時色が濃くなっていったと思われる。また、保育界では、昭和10年に倉橋惣三が「系統的保育案の実際」を公表している。その

当時の奈良女子高等師範学校附属幼稚園では、どのような保育が行われていたのかを、「昭和13年度四之組保育日誌」から読み取り考察する。

### 1. 昭和13年度の当園の状況

奈良女子高等師範学校附属幼稚園が幼児保育を開始したのは大正元年11月1日であり、同月25日より本校第4学年の生徒の教育実習を開始している。初代主事は雀部顕宣であり、次いで森川正雄が大正3年9月4日から昭和14年8月29日まで主事を務めている<sup>1)</sup>。昭和13年度の園児数は166名<sup>2)</sup>

であり、組数は、「うなるのそのふ創立三十周年記念」及び「保育日誌」から、二年保育4組・一年保育3組の計7組であると考えられる。本稿で取り上げる「四之組保育日誌」に、子ども達が4

月12日入園式に参加し翌年（昭和14年）3月18日卒園式に参加していることが記載されていることから、四之組は一年保育であると考えられる。

保育項目については、大正15年に幼稚園令及び同施行規則<sup>3)</sup>が制定され、それに準じて当園規則も改正され、従来の「遊戯、唱歌、談話、手技」に「観察」、「図画」の2課目を加えられた<sup>4)</sup>。その後昭和17年まで当園の規則改正が見られないことから、当時の保育課目は「遊戯、唱歌、談話、手技、観察、図画」と考えられる。

図1 日誌原本

期日	豫定	實際
	自由遊び	三人学園11:30まで 手技物・糊紙入れ 朝の挨拶 手紙の準備 トネル・ブランコ 日本隊練習 練習
	校長先生の送別式 10時15分 入室	厚人・大い・ま・あつら 10時15分 入室
	手技(糊紙) 園庭の樹に足負	糊紙の準備 園庭の樹に足負
	糊紙の準備 図画	糊紙の準備 図画

## 2. 保育の実際

### 1) 一年間の流れ

一年間の流れをみると、4月12日（火）入園式から7月20日（水）終業式、7月21日（木）から9月11日（日）まで夏休み、9月12日（月）始業式から12月24日（土）終業式、12月25日（日）から1月8日（日）まで冬休み、1月9日（月）始業式から3月18日（土）卒業式である。

保育時間は、4月は午前中保育（散園11:30頃）、5月は9日（月）から弁当が始まり週5日間（月～金）は弁当（散園13:30頃～13:40）があり、土曜日のみ午前中保育である。7月は4日（月）から夏休みまで午前中保育となり、9月も同様に12日（月）の始業式以後9月30日（金）まで午前中保育のみである。10月は3日（月）から弁当が始まり土曜日のみが午前中保育である。以

表1 入園当初の保育の実際

月日	4月12日(火)晴	4月13日(水)晴	4月14日(木)晴	4月15日(金)曇後晴	4月16日(土)晴	4月18日(月)晴後雨
実 際	7:50より父兄と共に登園 教師より各児の机を教わる 父兄と共に外で自由遊び 10:00点鐘 鼻紙、便所 10:20二列にて遊戯室へ入園式 入場 年長児遊戯を見る 主事先生の話 退場 お土産 蝶 本校行き 講堂 奉安庫 11:30本校正面前で解散	自由遊び 9:30点鐘 整容 教師より後始末の注意を聞く 会集 歌「鳥はカアカア」 ラジオ体操(年長組を真似る) 教師より園内案内 教師より遊具説明 トンネル・ブランコ・兎に草やり・砂場遊び 11:00帰宅準備 整容 一日の遊びの話し合い お土産 金魚 11:30散園	付添いの親少なく登園 自由遊び 9:30点鐘 整容 部屋にてマゴト道具の説明 会集 おはようの挨拶 君が代の練習 教師より園内案内(昨日の続き) 自由遊び 11:00点鐘 帰宅準備 今日の反省 教師より「指のお家」唱歌新授、既習の歌練習 お土産 オルガン 散園	自由遊び(風の為外遊びの子も少なく、オリ紙、絵本、5・6人が教師の菓子入れの手伝い) 9:30点鐘 会集 ラジオ体操(大分上手になった) 談話 桃太郎(樹園を用う) 自由談話 外遊び 11:00点鐘 帰宅準備 お土産 香箱(菓子入) 11:30散園	自由遊び 9:30点鐘 会集 手技 櫻のつなぎ方(ヒゴ櫻の花、葉) 製作品自由に持ち遊ぶ 後始末 外遊び 帰宅準備 お土産 櫻つなぎ(自作) 11:30散園	自由遊び 9:30点鐘 会集 ラジオ体操 天長節の歌の練習 描き方 自由画(自由画帳クレヨン) 外遊び 帰宅準備 着き足りず、注意 11:30散園

表2 6月第三週の保育の実際

月日	6月13日(月) 雨	6月14日(火) 晴後雨	6月15日(水) 曇後雨	6月16日(木) 晴	6月17日(金) 晴	6月18日(土) 晴
実 際	シャボン玉吹き (廊下・昇降口) 9:10点鐘 整容 描き方 土曜日(後援会総会 後の演技会)の印象 画及び自由画 10:30観察 題材 梅雨 昼食 自由遊び(部屋にて描 き方・シャボン玉等) 帰宅準備 描き方の鑑賞 1:30整容 散園	登園順に七夕のほおず きを切る 自由遊び 9:10点鐘 談話会 題材 めだかの坊や 自由遊び 花壇の除草 入室 東郷さん二匁新授 唱歌遊び 其他夏の歌 11:20手技 題材 提灯(七夕飾 り用) 昼食 帰宅準備 散園	自由遊び 9:10、会衆 ラジオ体操 水の注意・さんご樹の 注意を聞く 入室 手技 いちごのちぎり方 10:30遊戯(4・5合併) 東郷さん二匁 既習練習 輪取り競争 昼食 自由遊び(雨のため十分 遊べず) 帰宅前、パン(徳田さん より)を食べる 1:30散園	自由遊び(鬼ごっこ・枠 登り・プランコ等) 9:00ラジオ体操 入室 唱歌練習 談話 鉄かぶとのおちいさ ん 10:20手技 題材 七夕の星人形 昼食 外遊び 帰宅前、教師と共に各自 のタオルを太陽に当て る 1:40散園	自由遊び 9:00点鐘 会衆 ラジオ体操 七夕祭の野菜作り(写 生的にモデルを見な がら色を塗る) 談話 題材 東郷さん 昼食 身体検査 帰宅準備 1:40散園	自由遊び 9:10点鐘 ラジオ体操 入室 注意 鉄道事故の実験を 話し、線路及び帰 宅途中の注意 自由遊び 10:30手技 題材 スワン船 外遊び 帰宅準備 青い海・アイスケ ーキの注意 整容 散園

後、11月から3月までは月曜日から金曜日まで弁当があり、土曜日のみが午前中保育である。しかし、5月1日(日)は開校記念祝賀式のために日曜日ではあるが登園し、6月11日(土)午前中は普段のように幼稚園で過して一旦降園し、土曜日であるが午後再び本校講堂で行われる後援会総会・演技会に親と一緒に参加するために登園している。そして、10月23日(日)は秋季運動会のため登園している。しかし、10月24日(月)は代休にならず午前中保育になっている。

## 2) 一日の流れ

午前中の保育の流れをみると(表1参照)、「登園-自由遊び-会集-課程保育(保育六課目)-自由遊び(外遊び)-帰宅準備-散園」となっている。

午後まで(弁当ありの日)の保育の流れをみると(表2参照)、「登園-自由遊び-会集-課程保育(保育六課目)-課程保育(保育六課目)-昼食-自由遊び(外遊び)-帰宅準備-散園」となっている。

登園後すぐの自由遊びは室内外で遊んでいたと考えられる。

子ども達が落ち着いた頃に点鐘である。点鐘の時刻は、行事やその日の子どもの状態によって必ずしも毎日一定ではないが、入園当初は9:30頃に、5月から6月中旬までは9:10頃に、6月下旬は9:00に、7月は8:30頃に、9月の始業式当初は9:00頃にそして最後の週は8:40頃に、10・11月は9:00頃に、12月は9:00~9:30

に、1月は9:30頃に、2月は9:40頃に、3月では行事以外は9:40~10:00頃に点鐘となっている。これは、子どもの登園時間にあわせていたためと考えられる。つまり、子ども達は、7・9月は早目の登園であり、1・2・3月は遅い目の登園であったためと考えられる。

会集は、全園児を集めて行われる会集と自由会集があったようである。昭和14年1月18日の日誌に「9時30分雨のため会集をやめ自由会集をなす」と書かれている。また、1月28日の日誌には、晴れているにもかかわらず「自由会集をなす」と書かれていることから、天候に関係なく自由会集は行われていたと考えられる。

午前中保育では、その後は、入室して保育六課目の一保育課目の活動が取りあげられ、教師が中心となって画一的に行われていたと考えられる。子どもの活動が一段落したところで自由遊びに入っている。この時の自由遊びは、ほとんど外遊びであったようである。そして、11:00に帰宅準備をし、11:30に散園である。ただし、4月12日から18日の帰宅準備と帰宅までの間は(表1参照)、子どもの状態や時間をみて、話し合いをしたり歌を歌ったりしている。また、入園当初の四日間(4/12~4/15)は、お土産として蝶や金魚やオルガンや菓子入りの香箱を持たせて帰しており、五日目の4月18日(土)は自作の櫻つなぎを土産として持たせて散園している。

午後まで(弁当あり)の保育では、会集後は入室して保育六課目の二課目が続けて取りあげられ、教師が中心となって画一的に行われていたと

考えられる。6月13日から17日の保育課目をみると(表2参照)、6月13日(月)は図画と観察、14日(火)は唱歌と手技、15日(水)は手技と遊戯、16日(木)は談話(前に唱歌練習)と手技、17日は図画と談話である。これらの二課目の活動は、動と静というように子どもの状態を考慮して選択されていることがうかがえる。その後は昼食であり、昼食後は外遊び(雨天の場合は室内)をして、帰宅準備をし、13:30か13:40に散園している。帰宅準備と帰宅までの間は、子どもの状態や時間をみて、描いた絵の鑑賞をしたり、差し入れのパンを食べたり、タオル干しをしている。6月17日は身体検査をしている。

### 3) 保育の内容

昭和13年度四之組保育日誌を、日を追って保育題材に視点をあてて読み取っていくと、表3<sup>5)</sup>のようになる。一年間の保育題材をみると、保育6課目を基盤として自由遊び・会集・行事・諸注意等生活訓練に関するもの、その他があげられる。

各課目の内容について、具体的に考察をする(表3参照)。

#### ① 保育6課目

##### 遊戯

例えば、5月では「ラジオ体操、端午の節句、金太郎、桃太郎、チューリップ、鈴遊び、ダルマかえし、愛国行進曲、汽車ポッポ、人形カクレ、水鉄砲、海軍記念日、日本男児、オホシサマ、鉄砲遊び、鬼ごっこ、コケッコー、宿替え遊び、輪取り競争」である。そして、6月では「ラジオ体操、ボート、水兵、輪取り競争、鳴き声遊び、東郷さん、演技予行演習、ダルマカエシ、シャボンダマ吹き、箱積木、バスケット遊び、ミカン売り遊び、正倉院小川園外保育蟹取り」である。

このことから、遊戯は、ラジオ体操・愛国行進曲、金太郎・桃太郎・チューリップ等の歌やリズムにあわせて体を動かす身体運動的な活動や、鬼ごっこ・宿替え遊び等の集団遊比的な活動が行われていたことがうかがわれる。また、7月や12月に防火演習が題材としてあげられていることから、訓練的な活動も行われていたこ

とがうかがわれる。さらに、7月に談話表現「金太郎」等がとりあげられていることから、他の課目と複合的に取り扱われていた様子もうかがえる。しかし、11月・1月・2月には自由行進が題材としてとりあげられていることから、教師や子どもの自由性も尊重されていたと考えられる。

##### 唱歌

例えば、5月では「カヒコ、ツバメの歌、発声練習、笹の舟」であり、6月では「僕の歌、おやすみ、東郷さん二匁、朝顔」が題材としてあげられている。

このことから、季節や行事を考慮して、題材として選択されていたことがうかがわれる。また、発声練習があげられていることから、美しく上手に歌うことが目的とされていたと言えるのではないかと考えられる。

##### 談話

例えば、5月では「開校記念祝賀式、鯉幟、端午の節句、兎とあひる、ヂンボン時計、大仏殿遠足、蛙と金魚、夏の食物、熊のお家と花子さん、三匹の兎、ピヨン太郎の絵巻物、健康習慣、健康習慣非常時の話、ロバの数、観察談話おたまじゃくし、海軍記念日、自由談話、帰ってきた燕、虫歯予防デー、風船と小鳥」である。6月では「愛馬の話、観察談話金魚、ロバの数、チン太郎山羊、ムシ歯予防デー、海の冒険、カモトリゴンベイ絵巻物、めだかの坊や、鉄かぶとのおぢいさん、太陽の尊さ、豆の兵隊さん、自由談話、日曜日(昨日)の遊び、愛国七銭物語、貯金習慣、熊のお家と花子さん、和ちゃん、」である。

このことから、兎とあひるやヂンボン時計等の物語や、健康習慣や貯金習慣等についてのいわゆる説明的な話といった内容や、日曜日の遊びや自由談話等の自分の思いを言葉で表現したり人の話を聞くといった内容が題材として選択されていたことがうかがえる。物語については、語り聞かせ(ストーリーテリング)であったり、ピヨン太郎絵巻物やカモトリゴンベイ絵巻物のように絵巻物を使っての語り聞かせであったり、人形芝居「赤づきん」(7月)のように

表3 保育題材(1年保育一年長組)

月	保育題材(遊)は遊戯、(唱)は唱歌、(観)は観劇、(展)は展覧、(図)は図画、(手)は手技の略
4月	自由遊び、入園式、会集、自由遊び、ラジオ体操、園内散歩(観・遊)、着が代(唱)、指のお家(唱)、桃太郎(観)、自由談話、花魁(手)、天長節(唱)、自由描き方(図)、浦島太郎(観)、リズム取り練習(観)、園外保育(観・遊)、身体検査、鉄の使い方(手)、校長先生送別式、チューリップ(手・観・遊)、桜(観・手)、日本の兵庫(遊)、飾遊び(遊)、支那事変絵本(観)、靖国神社参拝式、飛行機(手)、たんぼぼ積み(観・遊)、天長節祝賀式、粘土(手)、偶発事項、花壇・菜園・動物会の観察、既習練習事項、衛生上の注意
5月	自由遊び、会集、ラジオ体操、開校記念祝賀式、庭園(観・展・手)、自由描き方(図)、自由切り方(手)、端午の節句(観・遊)、金太郎(遊)、桃太郎(遊)、チューリップ(遊)、節慶の道具の使い方、自由貼り方(手)、カヒコ(唱)、飾遊び(遊)、ダルマかえし(遊)、鬼とあひる(観)、愛国行進曲(遊)、粘土細作の風景(手)、汽車ポッポ(遊)、植物の根(観)、積み草摺り方(手)、星食準備、ダンボン時計(観)、大仏殿遊足(遊・観・展・図)、蛙と金魚(観)、福木鉢洗ひ、兜(手)、人形カクレ(遊)、夏のお家(観)、熊のお家と花子さん(観)、三匹の鬼(観)、梅・タンポポ・鴨豆等季節の植物(観)、朝顔の鉢土作り、雷刷子の使用法、ピョン太郎の絵巻物(観)、朝顔鉢植、食事の注意、着が代と色の練習、健康習慣(観)、第四種水遊び、水鉄砲(遊)、礼儀・言葉注意、健康習慣非常時の話(観)、ロボの歌(観)、身体検査、朝顔祭話おたまじゃくし、蛙探し、粘土自由製作(手)、粘土着色(手)、海軍記念日(手・観・展)、自由談話(観)、ツバメの歌(唱)、日本男児(遊)、オホシヤマ(遊)、山登り遊足(観・図)、鉄砲遊び(遊)、ボート折り方(手)、海軍記念日祭神、鬼ごっこ(遊)、コケッコ(遊)、沸てきた燕(観)、毒狩(観)、焼(観)、宿管え遊び(遊)、飾遊び(遊)、粘土軍艦(手)、発声練習(唱)、笹の母(図)、虫歯予防デー(観)、風船と小鳥(観)、燕の巣(観)、輪取り競争(遊)、偶発事項、花壇・菜園・動物会・水溜りの観察、既習練習事項、衛生上の注意
6月	自由遊び、会集、ラジオ体操、春日神社参拝、愛鳥の日(観)、ボート(遊)、水兵(遊)、輪取り競争(遊)、粘土の着色(手)、自由描き方(図)、金魚観察談話、ロボの歌(観)、水彩画(図)、雷刷子人形(手)、チン太郎山羊(観)、ムシ歯予防デー(観)、僕の歌(遊)、鳴き声遊び(遊)、おやすみ(唱)、東郷さん(遊)、梅の冒険(観)、園外保育時計店(観)、時計(観・手)、七夕五色紙(手)、後援会演習予行演習(遊)、ダルマカエシ(遊)、カモトリゴンペイ絵巻物(観)、後援会総会(遊・観)、シャボン玉吹き(遊)、梅雨(観)、七夕ほろろき切り、めだかの坊や(観)、花壇除草、東郷さん二匹(観)、七夕地灯(手)、天の川(手)、水の注意、さんご樹の注意、いちごのちぎり方(手)、鉄かぶとのおちいさん(観)、星人形(手)、タオル干し、太極の幕(観)、野菜写生(図)、豆の兵隊さん(観)、身体検査、七夕のあみ(手)、自由談話(観)、鉄道線路注意、スワン船(手)、青い梅・アイスクリーム注意、ブランコ(唱)、七夕あみ切り方(手)、日曜日(昨日)の遊び(観)、愛国七銃物語(観)、着袴木(遊)、七夕輪つなぎ(手)、七夕四角つなぎ(手)、七夕紙船・字書き、ほろろの貼り方(手)、とうもろこし造り方(手)、七夕(遊・手)、バスケケット遊び(遊)、皇太后陛下御誕辰式練習、西瓜の貼り方(手)、人形の写生(図)、貯金習慣(観)、熊のお家と花子さん(観)、ミカン売り遊び(遊)、皇太后陛下御誕辰式、二組の絵の鑑賞、タオル洗濯、星食準備、ちやん(観)、自由談話、遊戯鑑賞、ラジオドラマ聞く、歩行の諸注意、朝顔遊び立て、朝顔油絵作り(手)、男児木工自由製作(手)、正倉院小川園外保育演習(観・遊)、朝顔(唱)、偶発事項、花壇・菜園・動物会・水溜りの観察、既習練習事項、衛生上の注意
7月	自由遊び、会集、ラジオ体操、山羊と狼レコード鑑賞、斬子さんの間違ひ(観)、自由談話、着が代(唱)、本校専攻車行き、天皇陛下御遊(観)、山羊と狼(図・遊・観)、唱歌遊び、飾遊び(遊)、ミカン売り(遊)、非常時の話「もしも支那の飛行機が来たたら」(観)、お話会(観)、自由描き方(図)、自由製作(手)、狐と鶏(観)、朝顔(手)、輪取り(遊)、七夕祭(観・遊)、聖誕一週間の話(観)、一分間の熱神、参組代表者二名陸軍病院慰問、狐と鶏(観)、夏休みの貯金箱(観・手)、昨日(七夕)の印象画(図)、自由行進(遊)、模範行進(遊)、お月様(唱・遊)、遊戯鑑賞、戦争ごっこ(遊)、道草の歌(唱)、日の丸行進曲(遊)、三匹の猫(観)、赤づきん(観)、身体検査、園遊の日(観)、防空演習(遊・手)、兵隊さん有難う(唱)、粘土(手)、家庭・八百屋・文房具屋・銀行を設けての売買社会遊び(遊)、粘土の色塗り(手)、談話表現「金太郎」(観)、朝顔の鉢洗ひ、手拭の洗濯、笹舟浮べ(遊)、日曜日の諸注意、「赤づきん」人形芝居(観)、朝顔をもち帰る事の注意、お遊び会(観、唱、遊)、終業式、偶発事項、花壇・菜園の観察、既習練習事項、衛生上の注意
9月	自由遊び、会集、ラジオ体操、結業式、赤い紅葉(唱)、ヨイコドモ鑑賞(観)、月の井戸(唱・遊・観)、月夜の鬼(唱・遊・観)、飾虫(遊・唱)、夏休み中の出来事(観)、虫巻作り(手)、夏休みの印象画(図)、法道方面園外保育種観察、虫取り(観)、身体検査、洗濯ダンス(遊)、野球ダンス(遊)、掃帚注意、紅葉(遊)、夏休み中の貯金預入、朝顔(手)、小鳩と小鬼(観)、自由談話(観)、ドンペイちいさん(観)、自由描き方(図)、旗体操(遊)、日の丸の旗日本の旗(唱・遊)、夕日(唱・遊)、秋の虫(観)、園外保育本校(観)、本校印象画(図)、描き方鑑賞、レコード鑑賞、こほろぎの子(観)、運動会用遊戯練習(遊)、粘土自由製作(手)、団子売り(手)の餅人顔子(観)、明日の話(観)、研究保育(一組)、月夜のためき(観)、防空演習の話(観)、偶発事項、花壇・菜園の観察、既習練習事項、衛生上の注意
10月	自由遊び、会集、ラジオ体操、日の丸の旗(唱)、聖徳天皇御参拝、自由描き方(図)、弁当の話(観)、奉仕隊の遊戯(遊)、当組衛生研究保育二ツ子児・コスモス観察、レコード鑑賞山羊と狼・トロメライ等、今日一日の反省(観)、あひると鬼(観)、運動会遊戯練習(遊)、相撲(唱・遊)、ブランコ遊戯(遊)、三匹の豚(観)、本校農園の観察、研究保育(五組・六組・七組・三組、新公園園外保育(観・遊)、因幡の白兔(観)、月の鬼(手)、発声練習、鬼の折り方(手)、月見の事(観)、月見土産すすきに月と鬼付け(手)、月見団子作り(手)、月見観察問答(観)、栗(観)、旅行について(観)、旅行諸注意、紅葉狩(遊)、三・四合併談話談話(遊・観)、京都電車旅行山御殿、動物園、絵本二宮金次郎(観)、既習遊戯鑑賞、京都旅行印象画(図)、印象画鑑賞、コスモスセンターグループ観察(図)、水彩画(図)、遊戯練習女児のみ遊、編引練習男児のみ遊、一組共同制作の鑑賞、唱歌練習、支那事変絵本(観)、三・四・五組合同総練習、運動会予行演習、人物描き方(図)、靖国神社臨時大祭(観)、靖国神社臨時大祭奉式、最近の戦争の話(観)、プロムネードの練習、今日の反省(観)、掃帚注意、運動会部分練習、センターグループ鑑賞、葉山子(唱)、最近の軍隊の状況の話が代・万歳三唱(観)、狼か合歌(観)、明日の運動会注意、秋季運動会、飾遊び(遊)、リズム遊び(遊)、運動会印象画(図)、柿(観)、身体検査、運動会印象画鑑賞、燕・渡鳥・伝書鳩等(観)、ラジオ体操第二練習、校医身体検査、共同製作作業(手)、木の葉(唱)、豆・表裏子孫、皇軍苦労の話(観)、宮内省奉迎練習、水溜り神社参拝、附属小学校運動会見学、明日の注意、明治節の歌(唱)、人形かくし(遊)、星食の諸準備、自由粘り、偶発事項、花壇・菜園・動物会の観察、既習練習事項、衛生上の注意
11月	自由遊び、会集、ラジオ体操第一・第二、春日大社参拝(一日のみ)、菊(観・手)、羅生門(観)、明治節祝賀式練習、研究保育(六組・一組・三組・二組・五組・七組)、自由描き方(図)、粘土動物(手)、描き方鑑賞、本校講堂明治節祝賀式練習、粘土動物着色、まがりかど(唱)、拾人の小人の話(観)、自由談話(観)、兵隊ごっこ(遊)、明日の注意、自由行進、粘土動物(手)、タンポリン(遊)、鹿(観・手)、園外保育奈良公園(観・図・手)、法道園外保育(観)、リズム遊び、当組研究保育秋の木の葉・さよなら(唱)、粘土動物の着色塗り、汽車が走るリズム鑑賞、浦島太郎(観)、兄弟雁(唱歌)、かけ足、発声練習、蟻ときりぎりす(観)、朝顔祭話、風の陣曲(遊)、大塚遊び(遊)、尻尾の語(観)、飾遊び(遊)、玩具写生(図)、節慶の整理整頓、赤んぼちゃんさん、一日の反省(観)、レコード鑑賞、熊の絵、水兵(遊)、愛国行進曲(遊)、一人ずつの行進と注意(遊)、交換保育(観)、熊(手)、城兵衛附近園外保育演習見学、人物(図)、身体検査、鳥観察談話、羊堀り本校農園、積木遊び(遊)、一寸法師(観)、こころ(遊)、赤い卵(観)、白兔(唱・遊)、絵本観察、野菜観察談話、輪取り(遊)、贈物利用自由製作(手)、羊堀りの芋食、紙芝居三匹の子豚(観)、雷換遊び(遊)、命令遊び(遊)、ミカン売り(遊)、スキップ(遊)、僕は軍人(唱)、偶発事項、花壇・菜園・動物会の観察、既習練習事項、衛生上の注意
12月	自由遊び、会集、着が代(唱)、宮城遷移、ラジオ体操第一・第二、南門登り(手)、今日一日の反省(観)、カラスハカアア(唱)、愛国行進曲(遊)、贈物利用自由製作(手)、自由談話、兵隊ごっこ(遊)、紙芝居赤づきん(観)、サンタクロース(唱・遊・手)、風(遊・手)、皇軍慰問用自由画(図)、描き方鑑賞、義勇の木(観)、リズム遊びホップ・かけ足(遊)、ハンドバッグ(手)、自由談話(観)、絵本鑑賞(観)、紙鉄砲(手)、かけ足練習(遊)、友さがし(遊)、おしくら(遊)、第四種木、電信遊び(遊)、青あて遊び(遊)、勇士の皇軍侍の話(観)、研究保育(一組・二組・七組)、雪景色水彩画(図)、修練木(観)、当組研究保育クリスマス(手)、輪取り(遊)、身体検査、一月一日(観)、新年の挨拶練習、休み中の注意、防火演習、砂嚢(観)、お母さん(遊)、誕生日(唱)、城門折り方(手)、戦慄(手)、皇太子御誕辰の為陛下御日常の話(観)、餅つき(唱)、代表四院陸軍病院慰問、終業式、偶発事項、花壇・菜園・動物会の観察、既習練習事項、衛生上の注意
1月	自由遊び、結業式、会集、初名札礼り、ラジオ体操第一・第二、スキップ、駅足、園全体自由談話会「初日の下」(観)、冬休み印象画(図)、言葉練習・積木・5分間描画・行進練習・三分間描画小学校受験準備テスト、一日の反省、描き方鑑賞、兵隊さん(手)、さよなら(遊)、手マリ(唱)、春よ来い(唱)、風の陣曲(遊)、命令遊び(遊)、天の岩屋(観)、明日の試験についての諸注意、自由行進(遊)、交換保育の話(観)、衛生交換保育、一寸法師絵本(観)、春のよろこび(遊)、小サイズ(唱・遊)、三匹の動物(観)、奉仕隊の歌(遊)、愛国行進曲(遊)、春よ来い(唱)、輪取り(遊)、雷国のソリの話(観)、明日の話、自由描き方(図)、雷ダ(手)、熊の家遊び方(手)、身体検査、縄跳び(遊)、マリ送り競争(遊)、羊と狼(図・観)、先生の写生(図)、雷観察(観)、人物写生(図)、みくへの子供(唱)、木工自動車切り方(手)、時計ノ子供全園合同談話会(観)、レコード鑑賞、ラジオ「子供の時間」聴取、木工自動車釘打ち(手)、木工自動車着色(手)、紋形切り方(手)、1年生(唱・遊)、積み紙配布(手)、足踏ミ(唱)、水兵(遊)、お伽噺(観)、狼と羊二組劇鑑賞、兄弟雀(遊)、梅とウグイス図鑑貼り方(手)、冬眠(観)、偶発事項、花壇・菜園・動物会の観察、既習練習事項、衛生上の注意
2月	自由遊び、会集、園遊場、着が代(唱)、ラジオ体操第一・第二、足踏ミ(遊)、自由談話、社会遊び役割決め、社会遊び・郵便遊び・買物遊び・販事遊び(遊)、自由行進(遊)、粘土花瓶(手)、節分の面男児・女児お多福(手)、紀元節(唱・遊)、部分遊び各部分の語・お山の鬼・豆まき(観・遊)、春日神社参拝、鬼の片耳(観)、愛鳥遊軍歌レコード鑑賞、自由描き方(図)、一日の反省、日本精神強固訓練園遊場遊戯、部分(手)、愛鳥遊軍歌(唱)、玩具・花生(遊)、園外保育(観)、花映紅(観)、弓と矢(手・遊)、卒業記念写真撮影、お菓子の家・赤いマント(観)、明日の注意、紀元節祝賀式練習本校講堂、本校保母科履見学生保健女学院へ、神武天皇崩り方(遊)、万寿経(観)、水彩画(図)、森の王様(観)、ラジオ「子供の時間」聴取、卒業遊戯練習(遊)、軍艦(唱・遊)、東郷の幼少時代(観)、熊車折り方(手)、園外保育奈良公園、あひるの王様、水仙(観)、手業ノ系手技、幼児の手の形(図)、身体検査、雀の行列リズム(遊)、ひなまつり(遊)、ひなまつり版圖鑑賞、すり餅の歌(観)、食事態度注意、標車ちぎり方(手)、本校遊軍歌(観)、龍造治(観)、白いお籠さんと黒いお籠さんと雪籠のお話(観)、あひる(観)、狼(観)、コマ(手・遊)、スキップ、春の景色(手)、教生一日指導、輪取り箱さん談話表現指き方(観・図)、飛行機のリズム(観)、さくらんぼの旗ちゃん(観)、偶発事項、花壇・菜園・動物会の観察、既習練習事項、衛生上の注意
3月	自由遊び、会集、園遊場、宮城遷移、ラジオ体操第一・第二、鐘祭り(遊)、鐘祭り(遊)、自由行進(遊)、鐘人形(手)、内親王陛下御誕生祝賀式、地久節の歌(唱・観)、遊戯鑑賞、レコード鑑賞、相撲(観)、赤い卵(観)、自由談話(観)、鐘祭り(手)、一日の話し合い、地久節祝賀式練習、着が代(唱)、おへろ星人(観)、皇軍慰問の絵・手紙描き方(図)、星食準備、卒業証書受け練習、描き方鑑賞、粘土花瓶着色(手)、贈物へ園外保育(観)、陸軍記念日(観)、愛鳥遊軍歌(唱)、さくら(遊)、ひばりごっこ(遊)、幼児選択の絵本談話、電信遊び(遊)、人形カクレ(遊)、明日の注意、身体検査、飾遊び(遊)、卒業証書授与式練習、卒業式直前練習、年長・年少組お別れ会、終業式、第27回保育証書授与式練習、卒業演習会、別れの言葉(一年間の反省・小学校へ行っての諸注意等)、お土産配布(描き方・手技・花壇・写真機・積木・菓子)、偶発事項、花壇・菜園・動物会の観察、既習練習事項、衛生上の注意

人形劇を見せたり、一寸法師絵本（1月）のように絵本を使って読み聞かせをしていた様子うかがわれる。また、自由談話がとりあげられていることから、談話における子どもの自発性や創造性も尊重されていた様子うかがえる。さらに、観察談話おたまじゃくし（5月）・観察談話金魚（6月）・談話表現金太郎（7月）のように、他の課目と複合的にとりあげられていた様子もうかがえる。

#### 手技

例えば、5月では「鯉幟折り方、自由切り方、自由貼り方、粘土鯉幟の風景、摘み草塗り方、兜折り方、第四積木遊び、粘土自由製作、粘土着色、海軍記念日、ボート折り方、粘土軍艦」であり、6月では「粘土の着色、歯刷子人形、時計、七夕五色紙、七夕提灯、天の川、いちごのちぎり方、星人形、七夕のあみ、スワン船、七夕あみ切り方、七夕輪つなぎ、七夕四角つなぎ、ほゝずき（ママ）の貼り方、とうもろこし塗り方、七夕、西瓜の貼り方、男児木工自由製作」である。

このことから、子どもの発達や季節や行事を考慮して、題材として選択されていたと考えられる。折り方・切り方・貼り方・塗り方・第四積木から恩物系列の手技的な内容うかがわれるが、自由切り方・自由貼り方・自由製作から自由な表現活動を尊重する様子うかがえる。また、七夕五色紙・七夕提灯・天の川・いちごのちぎり方・星人形・七夕のあみ・七夕あみ切り方・七夕輪つなぎ・七夕四角つなぎ・ほゝずき（ママ）の貼り方・とうもろこし塗り方・七夕・西瓜の貼り方から、7月の七夕に向かっての一連の活動の流れうかがえる。

#### 観察

例えば、5月では「鯉幟、植物の根、大仏殿遠足、梅・タンポポ・豌豆等季節の植物、おたまじゃくし、山登り遠足、苺狩、桃、燕の巣」であり、6月では「金魚、園外保育時計店、時計、梅雨、正倉院小川園外保育蟹取り」である。

このことから、題材として自然や社会に関する内容が選択されていると考えられる。そし

て、植物の根の観察は、5月の植木鉢洗ひ（ママ）・朝顔の鉢土作り・朝顔鉢植（ママ）、6月の朝顔支柱立て・朝顔油粕やり・朝顔（唱）、7月の朝顔（遊）・朝顔（手）・朝顔の鉢洗ひ・朝顔の持ち帰ることの注意へと、朝顔の成長にしたがっての活動の展開の流れうかがえる。さらに、大仏殿遠足・山登り遠足・園外保育時計店のように、自然や社会事象を観察することを目的として園外保育を積極的に実施していた様子うかがわれる。

#### 図画

例えば、5月では「自由描き方、大仏殿遠足、山登り遠足」であり、6月では「自由描き方、水彩画、野菜写生、七夕紙絵・字書き、人形の写生」である。このことから、自由な表現を主とした自由画、大仏殿遠足や山登り等の印象画、野菜や人形の写生等の写生画が内容としてとりあげられていたことがうかがえる。題材として、自由画や印象画をとりあげていることから、子どもの自発性や創造性が尊重されていた様子うかがえる。

以上のことから、保育六課目については、各課目の個々の充実に重点をおきながら、教師が中心となって画一的に指導されていた様子うかがえる。そして、朝顔の成長にしたがっての活動の流れや七夕に向かっての活動に一連の流れをみることできるが、これは各課目の充実ははかりながらの季節や行事にそっての一連の活動の流れと考えられる。つまり、これは倉橋のいう誘導保育（物的環境による誘導・保育者の言葉かけや話し合いによる誘導・主題による誘導・保育者自身による誘導・大仕掛けな製作活動による誘導）<sup>6)</sup>というよりは、むしろ各課目の充実に重点をおいた課程保育と言えるのではないだろうか。

そして、各課目の充実に重点をおきながら、たとえば「チューリップ」という題材で、ある日は手技の活動を、またある日は観察を中心に、ある日は遊戯をというように、一題材を六課目の各視点からとらえ、活動している様子うかがえる。

さらに、談話表現「金太郎（7月）・柿観察談話（11月）・野菜観察談話（11月）等のように、課目を複合的に取り扱って活動を展開している場合

もみられる。また、自由行進、自由談話、自由切り方・貼り方等の題材から、子どもの自発性や創造性が尊重されていた様子もうかがえる。

## ② 自由遊び

日誌に書かれている一年間の自由遊びの内容は次のとおりである。

4月

飯事遊び・マリ投げ・ブランコ・砂場・金魚観察・自由描き方・風車で遊ぶ・今日の準備・花壇の水やり・絵本・折り紙・古雑誌で飛行機の折り方・チューリップ観察

5月

買い物遊び・飯事遊び・戦争ごっこ・兵隊ごっこ・ブランコ

6月

飯事遊び・鬼ごっこ・ブランコ・粹登・兵隊ごっこ・まり投げ・積木・絵本・砂遊び・水遊び・折紙・レコード鑑賞・かひこの蛾鑑賞・朝顔鑑賞

7月

絵本・オルガン・レコード・円木遊び・飯事遊び・描き方・狼ごっこ・財布作り

9月

ブランコ・円木・飯事遊び・鬼ごっこ・虫取り・砂遊び・絵本・積木・兵隊遊び・戦争ごっこ・学校ごっこ・お話し

10月

描き方・絵本・折紙・水彩自由描き方・自由手技・幼稚園雑誌付録飛行機組立・動物園空箱共同製作・戦争ごっこ・戦闘帽・看護婦の折り方

11月

自由描き方・ブランコ・人形の写生・砂遊び・板排べ・飯事・すきっぷ・鬼ごっこ・木の葉拾ひ・木工・社会遊び・墨絵・落葉集め

12月

飯事遊び・自由手技・絵本鑑賞・自由描き方・電車ごっこ・兵隊ごっこ・水彩画・鬼ごっこ・凧上げ・コマ遊び・戦争ごっこ・羽子つき

1月

鬼ごっこ・走りアヒ・雪ダルマ作り・雪兎作り・雪合戦・氷で遊ぶ・紙風船で遊ぶ・カゴ

メ・飯事遊び・コマ廻し・描き方・木工・絵本談話・姉様ごっこ

2月

戸外運動・姉様ごっこ・絵本・コマ廻し・折紙・飯事・自由描き方・面付け鬼ごっこ・兵隊ごっこ・鬼ごっこ・看護婦ごっこ・戦争ごっこ・絵本・八百屋・花屋・社会遊び・カクレ鬼・饅頭屋・魚釣り竿作り

3月

自由製作・飯事遊び・描き方・キューピーで遊ぶ・絵本

以上のことから、自由遊びは、ただ子どもを遊ばせておけばよいというのではなく、教師は子どもの様子や季節や日々の保育六課目の活動内容との関連を考慮しながら、自由遊びの内容や環境を整えている様子がうかがえる。これは当時の主事である森川正雄の「自由保育の利点を認めながらも、子どもをただ遊ばせておけば、幼児は往々、自己の欲する処を見出すことが出来ず、盲探しにもがくものである<sup>7)</sup>という保育論との関係が深いと考えられる。

また、内容としては、ごっこ遊びが盛んだった様子がうかがえる。

## ③ 会集

会集は、ほぼ毎朝、登園後の自由遊びの後に、一日の活動のはじめになされる集りである。前述のように、全園児を集めて行われる会集と自由会集があったようである。「日誌」の実際欄から例をぬきだしてみると、次のとおりである。

4月14日 木

今日モ会集。オ早ヨウノ次ニ君ガ代ノ練習。列ノの並ビ方モ余程慣レテ来タ様デアル。

4月15日 金

9時半点鐘。会集。少シ寒カッタガ皆大元氣デラヂオ体操ヲ。大分上手ニナッタ。

6月22日 水

9時点鐘会集、藤棚下に集合。気持よい空気を胸一ぱい吸つて、幼児の頬は喜びに満ちあふれてゐた。ラヂオ体操に山田美彌子が始めて示範者となつて壇に上つた。

6月24日 金

9時會集。暑くもなく張り切つた気分で気持

よくラジオ体操。諸注意をする事が出来た。後式の練習。眞面目に正しくなす事が出来た。会集後部屋にて談話

11月24日 木

9時ラジオに合わせて、自由会集。曇天であつたが、気持ちよくきりつと過せた。

12月9日 金

9時15分点鐘、久しぶりに会集をなす。小雨であつたが元気をだし、運動場に集合する。寒さにも負けず手足の運動をなし、身体を充分暖くなし、ラジオ体操に移る。他の運動も元気になし、会集を終る。

1月18日 水

9時30分雨ノ為会集ヲ止メ自由会集ヲナス。少シ手先ガ冷タカッタガ元気ニ、真剣ニナシタ。

1月20日 金

10時点鐘ニテ、会集ヲナス。冬ノ衛生ノ注意ヲ頂キ規律正シク列ヲツクリ元気ニラジオ体操ヲナシタ。

1月25日 水

9時30分点鐘ニテ、会集ヲナス。スガスガイ空気ヲ吸ツテ気持ちヨク運動スル後カケ足ヤ、スキップ等ノ後木工ニ移ル。

2月1日 水

10時ヨリ会集ヲナス。今日ハ一日デアルノ発生々シタ緊張シタ気分デ集合スル。「日の丸」ノ旗ヲアホギ君ガ代ヲ歌ヒ、ホントニ心身ノ緊張スルノヲ覚エタ。

2月9日 木

常ノ如ク9時40分ラジオニヨリ自由会集ヲナス。手先ガ冷タカッタガ元気ヲ出シ真剣ニナス。愛馬進軍歌ハ全身ヲ躍動サセ力強カッタ。以上のことから、会集・自由会集では、ラジオ体操が行われていたようである。表1・表2のように日誌の実際欄には毎日ラジオ体操をしたとの記載はないが、日誌の予定欄には毎日記載されている。また雨の日(6/6・6/10・11/16・1/19等)には、廊下や部屋でラジオ体操をしたことが記されていることから、ラジオ体操は会集・自由会集の時に毎日行われていたと考えられる。さらに会集では、園児全員に話や諸注意がなさ

れ、その時に応じて歌や遊戯の練習等をしていたことがうかがわれる。

#### ④ 行事

日誌に書かれている一年間の行事は以下のとおりである。

4月

入園式、園外保育、身体検査、校長先生送別式、靖国神社遥拝式、天長節祝賀式

5月

開校記念祝賀式、大仏殿遠足、健康週間、身体検査、山登り遠足、虫歯予防デー

6月

春日神社参拝、園外保育時計店、後援会演技予行演習、後援会総会演技会、身体検査、貯金週間、皇太后陛下御誕辰式、正倉院小川園外保育蟹取り

7月

参組代表者二名陸軍病院慰問、身体検査、お遊び会、終業式

9月

始業式、法連方面園外保育、身体検査、園外保育本校

10月

聖武天皇御陵参拝、園外保育本校農園、新公園園外保育、京都電車旅行、靖国神社臨時大祭挙式、秋季運動会、身体検査、校医身体検査、氷室神社参拝、小学校運動会見学

11月

春日大社参拝、本校講堂明治節祝賀式挙行、園外保育奈良公園、法連園外保育、練兵場附近園外保育演習見学、身体検査、芋掘り本校農園

12月

身体検査、代表四児陸軍病院慰問、終業式

1月

始業式、園全体自由談話会「初日の下」、身体検査、時計ノ子供全園合同談話会、

2月

節分遊び会、春日神社参拝、日本精神強調週間、宮城遥拝、卒業記念写真撮影、紀元節祝賀式挙行本校講堂、本校保母科展覧会見学佐保女学院、園外保育奈良公園、身体検査、教生一日指導



3月

内親王殿下御誕生祝賀式、雛祭り会、地久節祝賀式挙行、聯隊へ園外保育、陸軍記念日、身体検査、終業式、第27回保育証書授与式挙行、卒業演技会

以上のことから、行事は、入園式・園外保育・身体検査等の園行事と、靖国神社遥拝式・天長節祝賀式・皇太后陛下御誕辰式等の国家的行事と、虫歯予防デー・貯金週間・健康週間等の社会的行事と、節分遊び会・雛祭り会等の伝統的行事が行われていたようである。園行事の身体検査については、毎月必ず一回実施されていたようである。7月11日(金)の日誌の実際欄に「登園順より身体検査をなす。この時期は身長が延びるらしく、どの幼児も大体一握位づつ大きくなってゐる。胸囲・体重はあまり変化しないが、減った幼児もなく嬉しかった」とある。このことから、身体検査では、身長・体重・胸囲が測定されていたと言えよう。そして、年に一回、校医身体検査(10月)が実施されていたようである。

⑤ 生活訓練に関するもの

生活訓練に関するものの一年間の題材は以下のとおりである。

4月

既習練習事項、衛生上の注意

5月

部屋の道具の用ひ方、昼食準備、朝顔鉢洗ひ、食事の注意、礼儀・言葉注意、軍記念日黙禱、既習練習事項、衛生上の注意

6月

七夕は、ずき切り、花壇除草、水の注意、さんご樹の注意、タオル干し、鉄道線路注意、青い梅・アイスクーキ注意、皇太后陛下御誕辰の式練習、昼食準備、歩行の諸注意、朝顔支柱立て、朝顔油粕やり、既習練習事項、衛生上の注意

7月

一分間の黙禱、朝顔の鉢洗ひ、手拭の洗濯、日曜日の諸注意、朝顔を持ち帰る事の注意、既習練習事項、衛生上の注意

9月

帰途注意、夏休み中の貯金預入、既習練習事

項、衛生上の注意

10月

旅行諸注意、三・四・五組合同総練習、運動会予行演習、プロムネードの練習、今日の反省、帰途注意、運動会部分練習、明日の注意、昼食の諸準備、既習練習事項、衛生上の注意

11月

国旗掲揚、宮城遥拝、明治節祝賀式練習、部屋の整理整頓、一人ずつの行進と注意、既習練習事項、衛生上の注意

12月

宮城遥拝、新年の挨拶練習、休み中の注意、既習練習事項、衛生上の注意

1月

机名札貼り、一日の反省、明日の試験についての諸注意、既習練習事項、衛生上の注意

2月

国旗掲揚、愛馬進軍歌レコード鑑賞、一日の反省、日本精神強調週間宮城遥拝、明日の注意、卒業遊戯練習、食事態度注意、既習練習事項、衛生上の注意

3月

国旗掲揚、宮城遥拝、昼食準備、卒業証書受け練習、明日の注意、一年間の反省・小学校へ行っての諸注意等、既習練習事項、衛生上の注意

以上のことから、生活訓練に関するものは、練習事項、諸注意・反省、部屋の道具の用ひ方・昼食準備・花壇除草等の作業(仕事)、国旗掲揚・一分間の黙禱・宮城遥拝等の国家的事項にわけられるのではないかと考えられる。そして、この生活訓練に関する題材は、会集・課程保育・自由遊び・帰宅準備等の時間を利用して行われていた様子がうかがわれる。つまり、この生活訓練に関する活動は、園生活全体の流れの中で行われていたと言えよう。

⑥ その他

その他の1年間の題材は以下のとおりである。

4月

偶発事項

5月

偶発事項、

6月

遊戯鑑賞、ラジオドラマ聴取、偶発事項

7月

山羊と狼レコード鑑賞、一分間の黙禱、遊戯鑑賞、偶発事項

9月

描き方鑑賞、レコード鑑賞、偶発事項

10月

レコード鑑賞山羊と狼・トロメライ等、既習遊戯鑑賞、印象画鑑賞、コスモスキンダーブック観照(観)、一組共同制作の鑑賞、キンダーブック鑑賞、運動会印象画鑑賞、自由帖鑑賞、偶発事項

11月

研究保育(六組・一組・三組・二組・五組・七組)、描き方鑑賞、汽車が走るリズム鑑賞、レコード鑑賞森の鍛冶屋等、偶発事項

12月

描き方鑑賞、研究保育(一組・二組・七組)偶発事項、

1月

言葉ノ練習・積木・5分間描画・行進練習・三分間描画小学校受験準備テスト、描き方鑑賞、教生交換保育、レコード鑑賞、ラジオ「子供の時間」聴取、狼と羊二組劇観賞、偶発事項

2月

愛馬進軍歌レコード鑑賞、ラジオ「子供の時間」聴取、ひなまつり版画鑑賞、教生一日指導、偶発事項

3月

遊戯鑑賞、レコード鑑賞、描き方鑑賞、お土産配布(描き方帳・手技帳・花瓶・写真帳・筆箱・菓子)、偶発事項

以上のことから、その他としては、鑑賞(観賞・聴取を含む)や、小学校受験のための準備テストや、教生に関する内容及び偶発事項がみられる。鑑賞(鑑賞・聴取を含む)が6月以降毎月とりあげられていることから、積極的に取り入れられていた様子がうかがえる。そして、レコード鑑賞やラジオ聴取から視聴覚教材が使用されていた様子もうかがえる。

## おわりに

昭和13年度奈良女子高等師範学校附属幼稚園の保育の実際をまとめてみると、一年間は3学期であり、一日の流れとしては、「午前中保育では、登園-自由遊び-会集-課程保育-自由遊び-帰宅準備-散園」、午後までの保育では、「登園-自由遊び-会集-課程保育-課程保育-昼食-自由遊び-帰宅準備-散園」と考えられる。

保育の内容としては、保育六課目を基盤として自由遊び・会集・行事等の保育要目と、諸注意及び反省・練習事項・国家的事項の訓練要目を柱立てに、保育が行われていた様子がうかがえる。

主に、日々の保育では、保育六課目の個々の充実に重点をおきながら、教師が中心となって画一的に指導されていた様子がうかがわれる。さらに保育六課目については、課目の複合的な取り扱いや、一題材の各課目の視点からの取り扱いや、植物の成長や行事にしたがっての一連の流れがうかがわれる。この活動の流れは、各課目の充実をはかりながらの季節や行事等に添っての一連の流れと考えられ、倉橋惣三の誘導保育と言うよりも、課程保育重視の保育と言えるのではないだろうか。当時の主事である森川正雄は、保育の柱として訓練要目と保育要目をあげ、その必要性を説いている<sup>8)</sup>。奈良女子高等師範学校附属幼稚園の保育の実際は、この森川正雄の保育論との関係が非常に深いと考えられる。

保育要目においても訓練要目においても、君が代(唱歌)、天長節(唱歌)、日本の兵隊(遊戯)、支那事变絵本(談話)、戦争ごっこ(自由遊び)、靖国神社遥拝式(行事)、宮城遥拝等の保育題材から、当時の戦時色がうかがわれる。しかし、日誌からは、子ども達の生き生きとして園生活を過している様子が伝わってくる。

今後は、森川正雄の保育論について考察を深めるとともに、さらに、昭和18年度の日誌を中心に奈良女子高等師範学校附属幼稚園の保育の実際について考察をすすめるつもりである。

この研究は日本保育学会第56回大会で発表したものを、加筆修正したものである。資料を提供し

ていただきました奈良女子大学麻生武教授（奈良女子大学文学部附属幼稚園元園長）と島岡尚子奈良女子大学文学部附属幼稚園元副園長に謝意を表します。

注

- 1) うなるのそのふ創立三十周年記念 奈良女子高等師範学校附属幼稚園 昭和17年11月。
- 2) 「子どもの姿をみつめて…」80年記念誌 奈良女子大学文学部附属幼稚園 1992
- 3) 幼稚園令施行規則の第2条に「幼稚園ノ保育項目ハ遊戯、唱歌、観察、談話、手技等トス」とある
- 4) 2) に同じ
- 5) 表3の保育題材は、日を追って書き並べたもので

ある。( )内は課目である。( )内に複数の課目がかかれているもの(例4月園外保育・チューリップ)については、園外保育は同日に実施されたものである。しかしチューリップについては、( )内の最初の課目(手)が日を追って実施されたものであり、他の課目については後日に順に実施されたものであるが、同月の場合は、まとめて記載することとする。

- 6) 高月教恵「倉橋惣三の誘導保育論の実際—菊池ふじの“人形の家”の實踐記録をとおして」新見公立短期大学紀要第21巻 2000 pp31-41
- 7) 文部省「幼稚園教育百年史」ひかりのくに株式会社 昭和54年 p236
- 8) 6) に同じ